

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年3月30日（月）19時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

3月28日（土）発表

- 28日（土）現在、州内の感染者は1406人、死者は84人。うち新たに死亡が確認されたのは16人で、一日あたりでは過去最多を記録。

3月30日（月）発表

- 30日（月）19時現在、州内の感染者は1517人（29日は1451人）、死者は113人（同98人）。29日（日）にはサンパウロ市内で26歳及び33歳の若者の死亡例が確認された。これまでに死者が出たのはサンパウロ市のほか、ヴァージェン・グランデ・パウリスタ市、サン・ベルナルド・ド・カンポ市、グアルーリョス市、タボアン・ダ・セーハ市、エンブー・ダス・アルテス市、ソロカバ市、オザスコ市、リベイロン・プレト市。
- ブタンタン研究所専門家は、サンパウロ州政府が現在実施しているコロナウイルスに係る制限措置が行われなかった場合、州内の感染は最初の感染者が発見された2月末から180日間継続し、死者は27万7千人に達していた旨発言。
- サンパウロ州選出の下院議員・上院議員は、同州のコロナウイルス対策に2億1900万リアルを支出する修正案を提出。
- サンパウロ州政府は、ソロカバ地域のガス供給会社「Naturgy」と協議し、同地域へのガス供給を5月末まで中断させないことに合意。
- 30日（月）、サンパウロ州は232の企業代表との会合を開催し、これらの企業は州政府に対する9700万リアル相当の寄付を表明。既に表明された額を含めると企業からの寄付総額は1億9500万リアル。
- サンパウロ州内の路上生活者や低所得層向けの食料保障プログラム「ボン・プラート」による59のレストランが4月1日（水）から60日間営業し、朝食50センターボ、昼食1リアル、夕食1リアルで提供。

2 マット・グロッソ州

3月28日（土）発表

- 州都クイアバ市は、市立公園で100人以上が参加するイベント実施を無期限で中断。合わせて市内の公的スペースでの大規模な清掃・消毒オペレーションを開始。水道・下水使用料金の調整（約6%増）を先送り。

3月29日（日）発表

- クイアバ地裁、3月20日（金）より同市が続けている社会距離の確保・商業活動の停止措置の延長を支持。

3月30日（月）発表

- 30日（月）17時現在、州内の感染者は18人（27日は12人）、死者はなし。
- マット・グロッソ州内の各大学（Unemat, UFMT, IFMT）がコロナウイルスの感染拡大防止で協力。Unematは医療従事者向けに顔面防護具を100以上配布予定。IFMTは消毒用アルコールの生産等で協力。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

3月30日（月）発表

- 30日（日）15時現在、州内の感染疑いは51人（前日44人）、感染者は44人（同36人）、死者なし。
- 30日（月）、同州政府は公式HPに1月31日（金）～3月30日（月）に講じた[約50のコロナウイルス対策措置のクロノロジー](#)を発表。
- 30日（月）、州都カンポ・グランデ市は、市内国際空港に到着した乗客の体温・体調検査を開始。（了）